

## 会社情報

### 会社概要

2017年12月31日現在

商号	ホシザキ株式会社 (HOSHIZAKI CORPORATION)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	昭和22(1947)年2月5日
上場	平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	79億93百万円
事業内容	製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする 各種フードサービス機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 13,118名 (単体) 1,148名
連結子会社	国内17社 海外36社(合計53社)

### 役員

2018年3月28日現在

代表取締役会長	坂本 精志	取締役	落合 伸一
代表取締役社長	小林 靖浩	取締役	古川 義朗
専務取締役	本郷 正己	取締役	世古 義彦
常務取締役	川井 秀樹	取締役(監査等委員)	北垣戸 弘充
常務取締役	丸山 暁	取締役(監査等委員)	元松 茂
取締役	小倉 大造	取締役(監査等委員)	柘植 里恵
取締役	尾崎 司		

### 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 配当金のお振込指定手続きについて  
配当金の受取り方法として、お振込みによるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取り、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込による配当金のお受取りをお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株主・投資家の皆さまへ

# ホシザキグループ報告書

## 第72期 (2017年1月1日～12月31日)



## ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課  
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465

代表取締役からのメッセージ

# 売上高・営業利益ともに6期連続で過去最高を更新。 引き続き企業価値向上に向け、最大限の成果を追求。



代表取締役会長

坂本 精志



代表取締役社長

小林 靖浩

## 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

## 経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

## 当期(2017年12月期)の業績の総括

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当期(2017年度)の連結業績は、売上高・各利益ともに過去最高を更新する結果となりました。

当期における当社グループを取り巻く国内の事業環境は、経済政策、金融政策の実施等により、景気は緩やかな回復基調で推移し、フードサービス業界における設備投資は堅調に推移しました。一方、海外においては、インドにて大規模な経済政策の変更によって一時的にフードサービス業界の設備投資が抑制されたものの、その他地域では、堅調または回復基調の景気の追い風を受け、フードサービス業界の設備投資も堅調でした。また、為替は当期中緩やかな円高傾向で推移したものの、前期(2016年度)と比較すると円安傾向でした。

こうした環境の中、当社グループは、国内外において引き続きフードサービス産業への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に努めました。国内は食器洗浄機の大口受注が大きく業績貢献した他、プレハブ冷蔵庫等の戦略製品の販売も好調に推移しました。海外は、米国、中国及び東南アジアにて製氷機、冷蔵庫の販売が好調に推移したものの、欧州における販売機能の統合後の一部業務の混乱、インドにおける需要減少等がマイナス要因となりました。

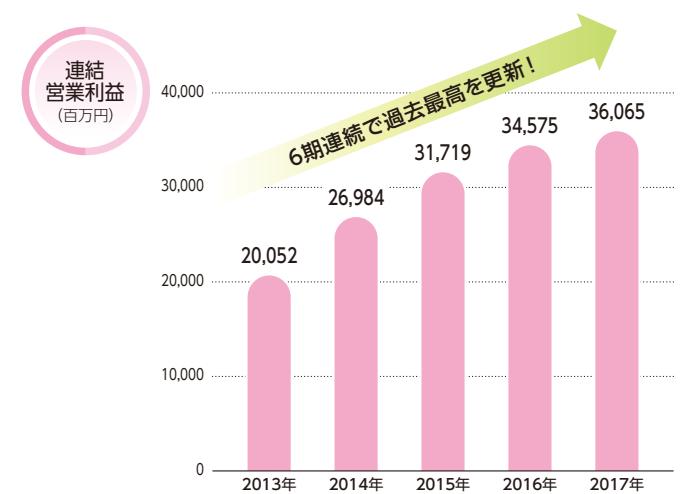
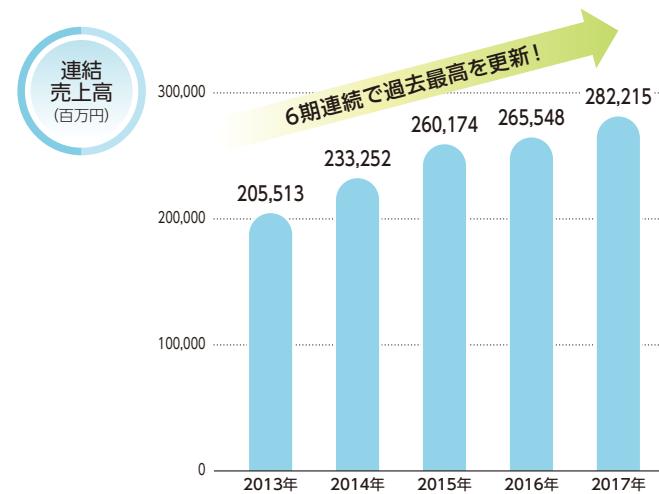
## 2018年12月期の取り組み

2018年以降も、国内及び海外において「全体的に安定軌道が継続したゆるま湯経済」の継続を予想する声が多いものの、当社グループを取り巻く事業環境は不確実性が高まりつつあります。国内においては、フードサービス業界において、深刻な人手不足による設備投資の抑制が危惧されますし、厳しい価格競争、原材料費の値上がり等の継続も想定されます。当社グループは、当期(2017年度)の食器洗浄機の大口受注の穴を埋め、さらに成長を目指すべく、新製品の積極的な拡販、営業・サービス連携による地域密着販売の強化、保守・修理の積極的な取り組みを目指します。また、海外においては、米国の金融緩和縮小を受けた世界経済の動向が大きなりリスク要因であることに加えて、国内と同じく、全ての地域にて価格競争、原材料費上昇が厳しくなっています。当社グループは、欧州の業務を早急に正常化、成長路線に戻すと同時に、その他地域では、製品ラインアップの拡充、販売、サービスチャネルの強化

を引き続き進めていきます。また、2018年12月期より、役員退職慰労金制度を廃止し、譲渡制限付株式報酬制度を新たに導入します。取締役一同、企業価値向上に向けて、最大限の成果を追求する所存です。

## 2020年経営ビジョンの実現に向けた中期的な取り組み

今後数年の当社グループを取り巻く事業環境を鑑みますと、コストアップは不可避、そのコストアップを吸収するための一段のコストダウン努力と新たな付加価値の創出が不可欠です。国内においては、「ダントツのNo.1」を目指して、「製造コストダウンと販売生産性の改善」を、海外においては、「内部統制強化と利益成長の加速」を目指して、「経営管理体制の強化と冷蔵庫を中心とした高採算性商品の新規投入」に取り組めます。全社員が日々のルーチン業務に埋没することなく、当社グループの行動規範である「極限への挑戦」を実践すべく、積極的に課題解決に取り組んでいきます。



# 五大大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています

## 国内での取り組み

### 自治体向けに拡販を強化

当社は、国や地方公共団体のほか、病院、学校法人（幼稚園から大学まで）、社会福祉法人、公益法人など幅広い公的機関に対して、全国各地で拡販体制の強化を推し進めています。具体的には、「勝手見積もり書」の提出継続、成功事例の共有、各種ツールの活用などにより、顧客困り込みを回っています。これら自治体向け販売額は、この5年間で約2倍にまで伸長しています。

#### 自治体攻略に向けた主な活動

- 予算編成時に前もって自主的に見積もり書を提出する「勝手見積もり書」の提出継続
- 自治体攻略のためのスキルアップを実施（訪問マニュアルの作成、成功事例の共有など）
- 各種ツールを活用したアプローチを実施（衛生講習会、セミナー等の開催）

### 女性活躍の推進

当社は2016年に、女性活躍推進に関する行動計画を策定するとともに、「女性がイキイキと働き、活躍できる環境づくりを目指したプロジェクト活動を行っています。女性社員や女性管理職に向けた研修の実施（女性の意識改革とキャリア形成支援）、出産や育児といったライフイベントを迎えた女性のキャリアを継続的に支援する仕組みなど、性別にかかわらず優秀な人材が働きやすく活躍できる会社を目指した取り組みを行っています。2016年には既に次世代育成支援対策推進法に基づく「くろみん」認定も取得済みです。

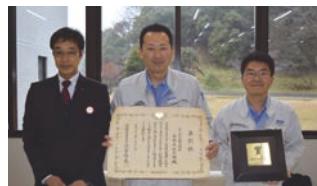


女性活躍推進法に基づく認定マーク「くろみん」

### 島根工場が中国経済産業局長表彰を受賞

2017年2月、経済産業省中国経済産業局などが主催する、省エネルギーに関して功績が極めて顕著な個人や事業者などを表彰する「2016年度中国地区省エネルギー月間表彰式」が開催され、当社の島根工場が「エネルギー管理有料事業者等」として中国経済産業局長表彰を受賞しました。

今回評価された取り組みの一例として、建物内のエアコンプレッサーを2台から高出力機1台に統合することにより、工場エネルギー原単位を3年連続で減少させております。



表彰式の様子

### ホシザキ研修センターを活用したサービス力の底上げ

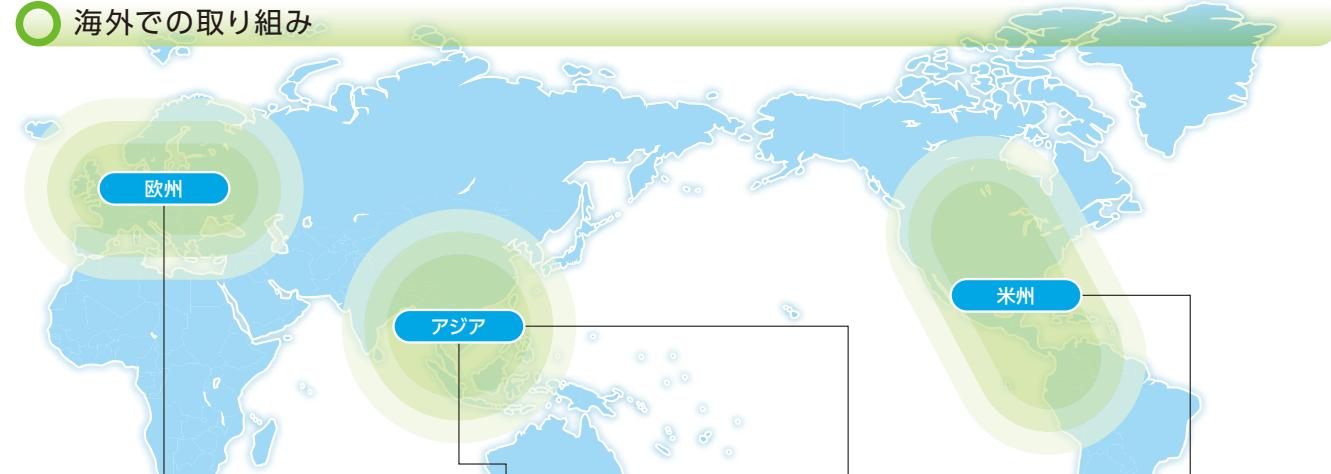
ホシザキグループは、「サービス力」を競争優位性の源泉と位置づけています。近年、人口減少による市場規模縮小が懸念されている事業環境の中、新たな市場を開拓していくためには、国内外で通用するサービス人材の確保・育成が不可欠であると考えています。

そこで、愛知県豊明市の本社工場内に「ホシザキ研修センター」を建設し、2017年3月より積極的な活用が行われています。グループ全体のサービス力の更なる向上を目指します。



ホシザキ研修センター 外観

## 海外での取り組み



### グラム社製品がProCold大賞を受賞

グラム社で開発・販売した冷蔵庫が、2017年のProCold大賞の冷蔵庫の部門でヨーロッパ大賞最優秀賞を受賞しました。

#### ProColdとは…

EU内での家電製品や冷凍冷蔵のエネルギー効率化を推進するプロジェクト



ProCold大賞を受賞した▲ Superior Plus K72G

### ウェスタン社の製品群拡大

ウェスタン社の冷蔵庫のラインナップが100種類を超えたことにより、売り上げが順調に伸びています。

また、インド国内の飲食チェーン店、ホテルチェーン店への販売を開始し、南アジア、東南アジア、中東への輸出版売も開始しております。

#### 取扱い製品例



### 東南アジアの事業拡大に向けてホシザキフィリピン設立

当社は、成長著しい東南アジア市場での需要を取り込むため、1999年にシンガポールに現地法人を設立して以降、東南アジア各国に現地法人を順次設立してきました。そして2017年9月に、東南アジア6拠点目となるホシザキフィリピンを設立し、更なる事業拡大を目指します。

#### 事業拡大に向けた取り組み

- 低価格冷蔵庫の供給拡大
- 日系チェーン店の進出サポート
- 代理店開拓及びサービス事業強化

### ホシザキアメリカオフィス拡張

ホシザキアメリカは、2015年から2020年までの5年間で間接人員を約1.5倍に増強する計画です。そのため、オフィス部分を拡張し、会議室やトレーニングルームの増設も行い、基礎が整いました。



ホシザキアメリカ 外観

今回対象のオフィス部分

# 連結財務ハイライト

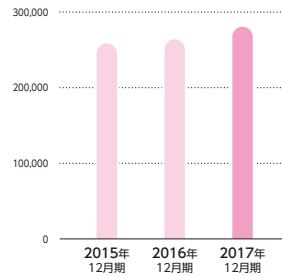
## 連結財務ハイライト

(単位:百万円)

	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期
売上高	260,174	265,548	282,215
営業利益	31,719	34,575	36,065
経常利益	30,864	34,140	37,086
親会社株主に帰属する当期純利益	16,971	21,430	23,144
純資産	176,545	187,179	206,900
総資産	273,655	289,967	316,637

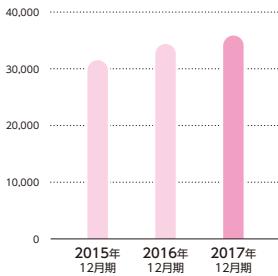
### 売上高

(単位:百万円)



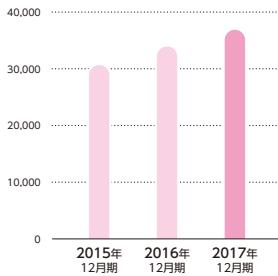
### 営業利益

(単位:百万円)



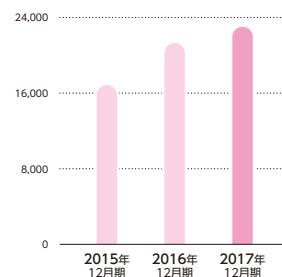
### 経常利益

(単位:百万円)



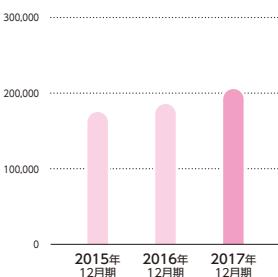
### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



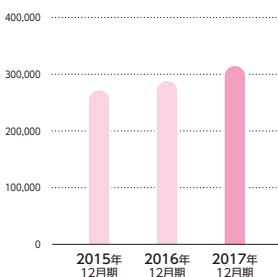
### 純資産

(単位:百万円)



### 総資産

(単位:百万円)



# 連結セグメント情報

## 地域別売上高

(単位:百万円)

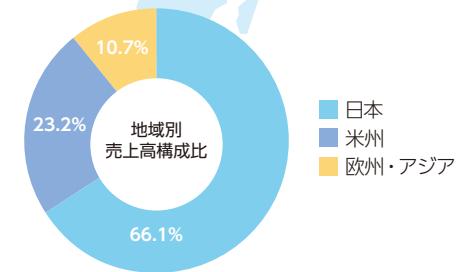
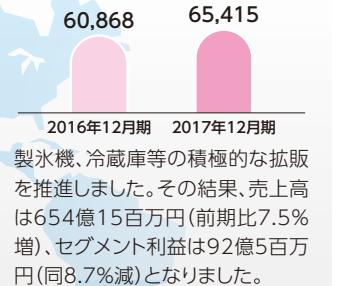
### 欧州・アジア



### 日本



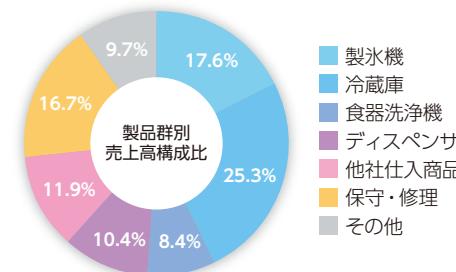
### 米州



※ エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。  
※ 各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

## 製品別売上高

(単位:百万円)



	2016年12月期	2017年12月期
製氷機	46,563	49,578
冷蔵庫	68,474	71,471
食器洗浄機	17,760	23,716
ディスペンサ	30,016	29,379
他社仕入商品	31,932	33,512
保守・修理	44,865	47,132
その他	25,935	27,424
合計	265,548	282,215

## 営業概況

### 事業環境

当連結会計年度における国内の経済環境は、経済政策、金融施策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。また、個人消費及び設備投資は持ち直しの動きが見られました。

海外は、米国では景気は堅調に推移し、欧州では景気は緩やかに回復し、アジアの新興国では景気は持ち直しの動きが見られました。一方、中国では景気は持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、為替は緩やかな円高傾向で推移しました。

### 業績・成果

このような環境のなか、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,822億15百万円(前期比6.3%増)、営業利益360億65百万円(同4.3%増)、経常利益370億86百万円(同8.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は231億44百万円(同8.0%増)となりました。


**連結貸借対照表**

(単位：百万円)

	当期末 2017年12月31日現在	前期末 2016年12月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
1 流動資産	254,531	226,535	27,995
現金及び預金	187,224	163,048	24,176
受取手形及び売掛金	30,261	27,172	3,089
商品及び製品	16,079	14,819	1,259
仕掛品	3,338	3,117	221
原材料及び貯蔵品	9,132	8,504	628
その他	8,640	10,018	△1,377
貸倒引当金	△145	△143	△2
2 固定資産	62,106	63,431	△1,324
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物(純額)	17,767	17,188	579
機械装置及び運搬具(純額)	8,203	7,849	353
工具、器具及び備品(純額)	2,431	2,414	17
土地	15,678	15,911	△232
リース資産(純額)	78	63	15
建設仮勘定	1,616	2,052	△436
<b>無形固定資産</b>	<b>6,835</b>	<b>8,917</b>	<b>△2,082</b>
<b>投資その他の資産</b>			
繰延税金資産	6,537	6,464	73
その他	3,176	2,761	414
貸倒引当金	△218	△191	△26
3 資産合計	316,637	289,967	26,670

## 1 流動資産

現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことから、流動資産は前期末比279億95百万円増加し、2,545億31百万円となりました。

## 2 固定資産

無形固定資産、建設仮勘定が減少したことから、固定資産は前期末比13億24百万円減少し、621億6百万円となりました。

## 3 資産合計

固定資産が減少した一方で、流動資産が増加したことから、総資産は前期末比266億70百万円増加し、3,166億37百万円となりました。

	当期末 2017年12月31日現在	前期末 2016年12月31日現在	増減額
<b>負債の部</b>			
4 流動負債	86,720	78,878	7,842
支払手形及び買掛金	16,893	15,445	1,447
未払法人税等	4,925	3,738	1,186
前受金	24,982	22,923	2,059
賞与引当金	3,427	3,301	125
製品保証引当金	1,664	1,594	70
その他	34,827	31,875	2,952
5 固定負債	23,016	23,909	△892
繰延税金負債	3,944	4,630	△686
役員退職慰労引当金	451	435	16
退職給付に係る負債	17,298	17,666	△367
製品保証引当金	1,114	1,029	84
その他	208	147	60
6 負債合計	109,737	102,787	6,949
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>			
資本金	7,993	7,993	0
資本剰余金	14,516	14,516	0
利益剰余金	183,475	165,399	18,075
自己株式	△3	△2	△1
その他の包括利益累計額	△1,014	△2,333	1,319
その他有価証券評価差額金	313	239	74
為替換算調整勘定	463	△74	537
退職給付に係る調整累計額	△1,791	△2,498	707
7 非支配株主持分	1,932	1,605	326
8 純資産合計	206,900	187,179	19,720
9 負債純資産合計	316,637	289,967	26,670

## 4 流動負債

前受金、支払手形及び買掛金が増加したことから、流動負債は前期末比78億42百万円増加し、867億20百万円となりました。

## 5 固定負債

固定負債は前期末比8億92百万円減少し、230億16百万円となりました。

## 6 負債合計

固定負債が減少した一方で、流動負債が増加したことから、負債合計は前期末比69億49百万円増加し、1,097億37百万円となりました。

## 7 純資産

利益剰余金が増加したことなどから、純資産は前期末比197億20百万円増加し、2,069億円となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2017年 1月 1日～ 2017年12月31日	前期 2016年 1月 1日～ 2016年12月31日	増減額
売上高	282,215	265,548	16,666
売上原価	173,849	161,918	11,931
売上総利益	108,365	103,630	4,735
販売費及び一般管理費	72,299	69,054	3,245
営業利益	36,065	34,575	1,490
営業外収益	1,665	1,535	129
受取利息	955	651	303
受取保険金	205	291	△86
その他	504	592	△87
営業外費用	644	1,970	△1,326
支払利息	95	84	10
為替差損	402	1,545	△1,143
その他	147	340	△193
経常利益	37,086	34,140	2,946
特別利益	100	12	87
固定資産売却益	100	12	87
特別損失	1,885	415	1,469
減損損失	1,829	263	1,566
その他	55	152	△96
税金等調整前当期純利益	35,302	33,737	1,564
法人税、住民税及び事業税	12,720	11,745	974
法人税等調整額	△739	210	△950
法人税等合計	11,980	11,956	24
当期純利益	23,321	21,781	1,540
非支配株主に帰属する当期純利益	177	350	△173
親会社株主に帰属する当期純利益	23,144	21,430	1,714

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2017年 1月 1日～ 2017年12月31日	前期 2016年 1月 1日～ 2016年12月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,877	30,611	4,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,066	△34,865	798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,966	△5,010	44
現金及び現金同等物に係る換算差額	329	△1,824	2,154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,826	△11,089	7,262
現金及び現金同等物の期首残高	53,733	64,822	△11,089
現金及び現金同等物の期末残高	49,906	53,733	△3,826

8 売上高

フードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組み、海外では米国を中心に主力製品の拡販に努めた結果、売上高は前期比6.3%増の2,822億15百万円となりました。

9 営業利益/経常利益

増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、営業利益は前期比4.3%増の360億65百万円となり、経常利益は、前期比8.6%増の370億86百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比8.0%増の231億44百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、348億77百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益(353億2百万円)、減価償却費(51億4百万円)などがあったことによるものです。

12 現金及び現金同等物の期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローの収入増や、投資活動によるキャッシュ・フローの支出減などがありましたが、現金及び現金同等物の期首残高が減少したことから、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末に比べ38億26百万円減少し499億6百万円となりました。

株式関連情報 (2017年12月31日現在)

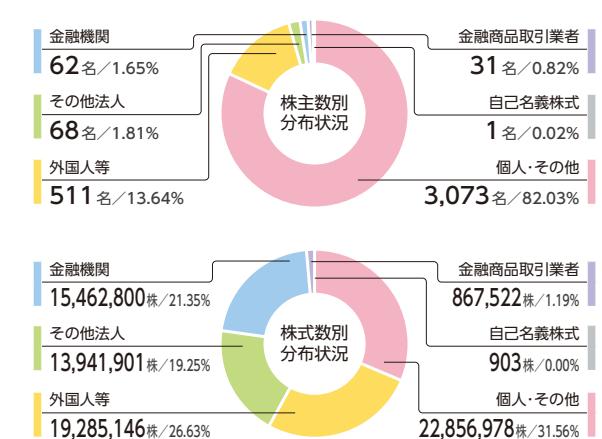
株式の状況

発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,415,250 株
株主数	3,746 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.00
ホシザキグループ社員持株会	2,760	3.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,660	3.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,344	3.23
真木 薫	1,757	2.42
真木 豊	1,700	2.34
稲森 美香	1,690	2.33
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	1,442	1.99
ザ バンク オブ ニューヨーク 133522	1,222	1.68

株式分布状況



国内外ネットワーク (2017年12月31日現在)

ホシザキ株式会社	
● 本社/愛知県 豊明市	● 島根本社工場/島根県 雲南市
国内グループ会社	
● ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市	● ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
● ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市	● ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
● ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市	● ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
● ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区	● ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
● ホシザキ東京株式会社/東京都 港区	● ホシザキ北九州株式会社/福岡県 福岡市
● ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市	● ホシザキ南九州株式会社/鹿児島県 鹿児島市
● ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市	● ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
● ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋	● 株式会社ネスター/愛知県 大府市
	● サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市
海外グループ会社	
● HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国	
● HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国	
● HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
● HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
● HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
● HOSHIZAKI NORTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
● HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
● Jackson WWS, Inc./米国	
● LANCER CORPORATION/米国	
● LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ	
● INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ	
● SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ	
● HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州	
● HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド	
● Lancer Europe/ベルギー	
● Aços Macom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル	
● Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ	
● HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国	
● Hoshizaki Europe B.V./オランダ	
● GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク	
● GRAM UK LTD./英国	
● Western Refrigeration Private Limited/インド	
● Western Coolers and Freezers Private Limited/インド	
● HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ	
● HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア	
● HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール	
● HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION/ベトナム	
● PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア	
● HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION/フィリピン	
● 星崎香港有限公司/香港	
● 星崎(中国)投資有限公司/中国	
● 浙江愛雪制冷電器有限公司/中国	
● 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国	
● 星崎電機(蘇州)有限公司/中国	
● 台湾星崎股份有限公司/台湾	
● Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国	